



カケハシ・プロジェクト（米国） アメリカボウル派遣の記録

1. プログラム概要

【目的】日本の高校生を対象に開催されているアメリカボウル大会^{（注）}の成績優秀者らが、米国ワシントンD.C.を訪問し、現地の高校生との交流や各視察先訪問を通じて、両国の歴史、文化、外交等について理解を深めるとともに、日本の魅力を積極的に発信し、友好関係を深めてもらうことを主目的として実施しました。

（注）アメリカボウル大会：一般財団法人日米協会が、日本人高校生が英語を通じて米国に関心を持ち、日米関係についての理解を深めることを目的に主催している大会

【参加者】日本の高校生と一般社団法人日米協会関係者 計 11 名

（内訳） 私立栄光学園高等学校の生徒 3 名

私立開成高等学校の生徒 3 名

千葉県立千葉高等学校の生徒 3 名

一般社団法人日米協会関係者 2 名

【訪問地】米国 コロンビア特別区（ワシントン D.C.）

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

3 月 14 日（木曜日） 【渡航前オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、渡航上の注意、新型コロナウイルス感染症対策等

■ 訪米プログラム：

3 月 23 日（土曜日） 【出発前オリエンテーション】
羽田空港より出国、ワシントン・ダレス国際空港より米国入国

3 月 24 日（日曜日） 【視察】全米日系米国人記念碑
案内人：全米日系アメリカ人記念財団（NJAMF） 会長 ジョン・トベ 氏

【視察】国立航空宇宙博物館

【視察】ナショナル・モール（国立公園）

3 月 25 日（月曜日） 【体験・視察】炊き出しボランティア、DC セントラル・キッチン（ボランティア団体）

【表敬訪問】在アメリカ合衆国日本国大使館

公使 兼 日本広報文化センター所長 三宅 史人 氏

【視察】ワシントン日米協会

- 3月26日（火曜日） 【学校交流】DC インターナショナル・スクール
【視察】米国科学技術政策研究所
- 3月27日（水曜日） 【視察】ジョージタウン大学
【視察】国立自然史博物館、ナショナルギャラリーオブアート
【交流】ジャパニーズ・プラス（NPO 法人グローバリズ DC）
- 3月28日（木曜日） 【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、
帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
【報告会】渡航成果・帰国後のアクション・プラン発表
【視察】国立アメリカ歴史博物館
- 3月29日（金曜日） ワシントン・ダレス国際空港より出国
- 3月30日（土曜日） 羽田空港に入国

2. 記録写真



3月24日【視察】全米日系米国人記念碑



3月24日【視察】国立航空宇宙博物館



3月24日【視察】
ナショナル・モール（国立公園）



3月25日【体験・視察】
炊き出しボランティア、DC セントラル・キッチン（ボランティア団体）



3月25日【表敬訪問】

在アメリカ合衆国日本国大使館 公使 兼 日本
広報文化センター所長 三宅 史人 氏



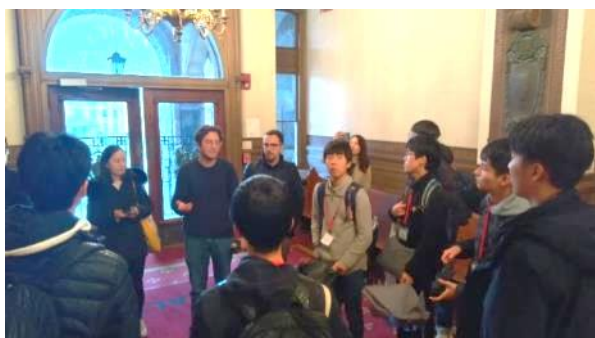
3月25日【視察】ワシントン日米協会



3月26日【学校交流】DC インターナショナル・
スクール



3月26日【視察】米国科学技術政策研究所



3月27日【視察】ジョージタウン大学



3月27日【交流】ジャパニーズ・プラス
(NPO 法人グローバリズ DC)



3月28日【ワークショップ】



3月28日【報告会】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

様々な機関や学校へ訪問し、多様なバックグラウンドを持つ人々からお話を聞くことで、アメリカという国の輪郭をぼんやりと掴むことができました。それに伴い、母国たる日本を相対化し、その特性を理解することができました。

◆ 高校生

DC インターナショナル・スクールとの交流が最も印象に残っています。政府機関や研究機関の視察はフォーマルな雰囲気である一方、現地との高校生との交流は、米国の国民性と最も触れることができたと感じました。しかし、学びになったのは機関の視察です。通常の旅行では絶対に聞くことができないようなお話を聞くことができました。特に、日本大使館を訪問した際に三宅公使がおっしゃっていた、相手に対してどのような「姿勢」を見せるかというお話が心に残っています。

◆ 高校生

全米日系米国人記念碑の案内人であるジョン・トベ氏のお話は、日本の教科書だけでは知ることができない内容で、特に印象的でした。敷地内に設置された鶴の彫刻は、塀の外を覗ける位置にあるにも関わらず飛び立てていない状況が、収容された日本人のことを表現していることや、その後米国に協力した日本人がどのような生活を送ったかという内容は学びがあり、とても興味深かったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先

アメリカボウル大会の生徒たちの英語学習に対する熱意と意欲に圧倒されました。その意欲が米国人学生に日本語を勉強するきっかけになれば嬉しいです！ワシントン日米協会（JASWDC）と全米日米協会連合会（NAJAS）についてより深く知っていただき、そして 2024 年のジャパンボウル大会の学生たちに向けた応援ビデオメッセージを送っていただき、ありがとうございました！ワシントン D.C.でのプログラムが素晴らしい経験になったことを願っています。

◆ 視察先

カケハシ・プログラムの同窓生として、自身の日本での経験や思い出を日本から来た学生たちに共有することができ、また、私の大学案内が、彼らの米国でのカケハシ・プログラムの思い出のひとつになれたことを喜ばしく思います。日本の学生たちと会話した際、日本と米国の文化の相違点や類似点を比較や、国際関係の勉強がいかに重要であるかを情熱的に語っていたのが印象的でした。

◆ 交流校生徒

本当に楽しかったです！参加者が全員男子だったのには最初驚きましたが、皆、英語レベルが高く、一緒にたくさん盛り上がりました。参加者の中には、フランス語も話す生徒もいました！新しい言語を学ぶのは大変ですが、今回の経験を経て、私も学校の（語学関係の）授業をもう少し真剣に聞くようにし、いつか今回の参加者のように海外に行って現地の言葉でコミュニケーションを取れるようになりたいです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

 We visited National Japanese American Memorial and learned about the history of Japanese Americans and specifically the internment of Japanese Americans during World War II. 全米日系米国人記念碑を訪れ、米国での日系人の歴史、特に第二次大戦期の強制収容について学びました。 4 days ago	03/23/2024 - 03/30/2024 KAKEHASHI Project America Bowl @Washington DC I participatad in KAKEHASHI Project for a week to accomplish the mission: Behave as an ambassador to promote Japan and Japanese cultur... もっと見る  他6件
2024 年 3 月 24 日 （Instagram） 全米日系米国人記念碑を訪れ、米国での日系人の歴史、特に第二次世界大戦期の強制収容について学びました。	2024 年 4 月 2 日 （Facebook） 2024 年 3 月 23 日～3 月 30 日 カケハシ・プロジェクト アメリカボウル@ワシントン D.C. 外務省提供のカケハシ・プロジェクトに参加し、ワシントン D.C.に一週間滞在しました。 「日本の魅力を発信し、日本のファンを増やす」というミッションを遂行すべく、日本の城を紹介するプレゼンテーションを実施した他、現地の様々な場所／団体／機関で交流を行いました。 初の渡米は仲間にも恵まれ、非常に刺激的で濃密かつ楽しい時間を過ごすことができました。 さらに、研修旅行ならではの数々の貴重な経験を積めたことは本当に幸運なことです。 このような経験をできたのも、企画・運営・引率をしてくださった皆さんのお陰です。本当にありがとうございました。 （後略）

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全3グループが発表

私立栄光学園高等学校		
AS “KAKEHASHI” STUDENTS Eiko Highschool		
【訪米中の学び】 ・ 米国の食べ物は提供される量が多く、チーズのような高カロリーのものが多く入っていました。その分美味しく、写真映えもします。 ・ 親切な人が多く、歓迎の心がどこに行ってもありました。しかし、英語を話すスピードが速く、日本人にとってハードルが高いと感じました。 ・ 建物や道路がすべて大きく、きれいな場所も多かったです。 ● 結論 日本と米国は異なるところもありますが、桜や四季を堪能する文化、歴史的価値のある場所を訪れる風習（遺跡、博物館、神社仏閣等）など類似点も多いです。今回のプログラムを通して私たちは米国について多くを知るきっかけができたので、米国人にも日本の文化を共有し、より深く日本について知ってもらいたいです。 【アクション・プラン】 まず今回の経験をグループ参加者がそれぞれの SNS で共有し（既に実行中。帰国後も継続してアップしていきます）、学校で今回の経験を共有する発表の場を4月以降に設けます。将来的には今回の学校交流に関わった生徒や SNS の投稿を読んだ人たちが交流を続け、より友好的な関係を築いていくきっかけになれば良いと思います。		
私立開成高等学校		
The Difference of Self-expression Kaisei Academy Final Presentation	Artwork ◆ Classroom Display ◆ Hallway Artwork 	CLOTHES ◆ USA ◆ JAPAN 
【訪米中の学び】 自己表現の方法に日米で大きな違いがありました。 ・ 米国の学校では、芸術面で自分を表現する機会が多くあります。 ・ 日本人は、Instagram に食べ物の写真などをアップしますが、米国人は自撮りの写真が多いです。 ・ （一般的に）学校の授業で日本人は聞くことに徹していますが、米国人は積極的に質問や自分の意見を言っていました。		

● 結論：優劣はありません

- ・ 米国人は自己表現がうまく、日本人は順応性が高いと言えます。
- ・ 米国の学校は、自己表現を促す授業が日本に比べて多いです（表現の授業、YouTube 動画の授業等）

【アクション・プラン】

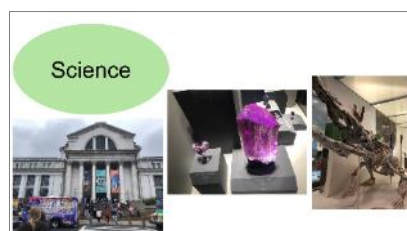
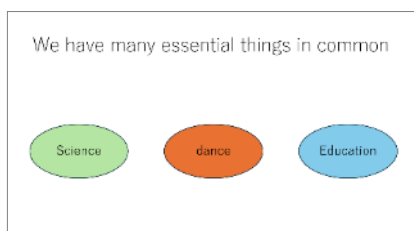
● 個別アクション・プラン

自己を表現するために、明るい色の服を着たり、自分の意見を積極的に発言したりするようにします。小さな一歩ですが、自分が良い方向に変われば、周りも変化すると思います。帰国後すぐに実行する予定です。

● グループ・アクション・プラン

帰国後、まず開成高等学校の生徒に今回のプログラムについて 3 か月以内プレゼンテーションを行います。次に自己表現の方法や重要性について開成高等学校の生徒と意見交換をします。最後に私たちの経験をブログ等でより多くの人に伝えていきます。

千葉県立千葉高等学校



【訪米中の学び】

● 博物館

米国の展示のほうが日本と比べて多く、説明も詳しいように感じました。しかし、人の興味がある分野や、恐竜の展示が子どもたちに人気がある等は日本も米国も同じでした。

● 教育

訪問した学校（DC インターナショナル・スクール）と日本の高校は多く違っていました。米国の方が個人の自由が尊重され、服装や態度における自己表現力が豊かです。日本はまだ型にはまっていますが、少しずつ米国のようになっているように感じます。

● 音楽や踊り

日本の学生で踊りや歌を披露する人は限られていますが、今回の交流を通して、音楽や踊りは言語関係なく人を結びつける力があるのだと気付くことができました。

【アクション・プラン】

今回のプログラムを通して新しい知識や経験も増えましたが、それ以上に米国と日本の両国の素晴らしいところが見えました。よって今回の経験や学びだけでなく、米国と日本それぞれにおいて流行していることや話題になっていることについて、私たちの視点から日本語と英語で SNS 上に定期的に発信していきます。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）